

椿西コミュニティ



2013年12月20日

椿西小学校学校運営協議会 発行



児童の笑顔は最高の調味料

ケアハウスつばき施設長 蔵 貫 みどり

先日、旧椿西小学校跡地にある私どもの福祉複合施設つばきに4年生が来てくださいました。当日は、音楽演奏や入所されている50人の高齢者とカルタやトランプ、折り紙などでいっしょに楽しみました。いつもは居室で静かに過ごしている高齢者ですが、この日はばかりは児童に混じり、童心に戻って大はしゃぎ。本当に楽しい時間でした。

その後、児童のみなさんから、つばきにお礼のお手紙が届きました。お手紙は、施設内の掲示板に貼られ、毎日のように人だかりができて、繰り返し読まれています。

また、通学時の立哨では、「老人ホームのおばさん。おはようございます。トランプ、おもしろかったね。また行ってもいいですか。」と、たくさんの児童が笑顔で声をかけてくれました。その笑顔がとても気持ちよく、とても嬉しい気持ちになりました。

児童のみなさんとふれあうことで楽しい気持ちになり、その日がすばらしい一日になりました。児童のみなさんの笑顔に勝るものはないとしみじみ思いました。

椿西コミュニティは大きな家族

つばき田んぼの会 会長 幸 坂 國 義

今年度も、協議会では、校内の草刈り、通学路の点検、花壇の管理等に取り組み、花の定植では、大屋の関屋さんの指導を受け、学校の花壇も含めて、椿西小は金賞を受賞しました。協議会では、いろいろな活動をしています。最近ちょっといい話を聞きました。

11月28日、3年生が大根の収穫体験をしました。一升ビンほどの大きさの大根もあり、子どもたちは、どろんこになって収穫をしました。後日、3年生のお孫さんがおられる方から、孫が菜付きの大きな大根を持って帰って、「菜っぱ、いらん？」と聞いたので、「いるよ。ありがとう。」と言って、料理に使ったら、お孫さんがとても喜んだそうです。

子どもは、親や家族が喜んでくれることが大好きです。親も、子どもが喜ぶと嬉しいものです。小さなことでも、感謝や喜びを表すことは、大切なことです。椿西コミュニティは、大きな家族です。子どもたちは、地域の人たちに、たくさんの喜びを与えてもらって成長していきます。また、喜びを与えてくれる存在でもあります。子どもたちの笑顔、笑い声の広がる学校、地域であり続けたいものです。地域の皆様の活動への参加、ご協力をお願いいたします。





2学期、こんな取組をしました

授業・訓育支援

□11月5日(火)～8日(金)の4日間、あいさつ運動を実施しました。6年生もいっしょに、あいさつ運動を行いました。

＜あいさつ運動実施後の気づき＞

- ・相手の目を見てあいさつする児童が多く見られ、あいさつが上手になったと実感した。
- ・季節の変わり目の11月で、朝晩の冷え込みがある中、子どもたちは、元気よくあいさつしてくれました。校門前で6年生ボランティアを前回のあいさつ運動の時より、さらに分散することで、あいさつする声がたくさん飛び交っていて、とても賑やかなあいさつ運動でした。
- ・北門近くの青果市場の方が、「元気なあいさつが聞こえてきて、気持ちがいいです。」とわざわざ声をかけてくださいました。うれしいことです。



生活環境・安全支援

□子ども110番の家（椿西小学校では、ピカットハウスと呼んでいます）として協力いただいている個人の家や事業所に、今後も継続が可能かどうかの確認を行いました。併せて、のぼり等の破損状況についても連絡していただきました。風雨の影響でのぼりが破損しているところがあり、交換を行っているところです。

□11月14日(木)、関屋さんに指導していただき、コミュニティ花壇に、ノースポール40本、ビオラ240本を植え付けました。配色も工夫されており、花の生長が楽しみです。

□12月14日(土)18時半から、萩イルミネフェスタの会場の安全パトロールを行いました。みんな、安全に気を付けながら、きれいなイルミネーションを楽しんでいました。



コミュニティ活性化

○第4回 9月11日(水)

「本の読み聞かせ」

講師：ジョイントネット萩「草の芽」様

○第5回 10月16日(水)

「さいころ作り」講師：遠藤由喜子様

○わくわくステージ 10月27日(日)

出演者：萩東中体験活動部、椿保育園白組有志、屋内スポーツクラブほか)

○第6回 11月13日(水)

「体を動かそう」※児童クラブとの合同開催

○第7回 12月11日(水)

「クリスマス・リースづくり」講師：吉川美佐子様

わくわく水曜日実施
わくわくステージ実施



コミュニティ参観日・PTAバザー

10月27日(日)には、コミュニティ参観日・PTAバザーが行われました。参観日には、どの学級も工夫を凝らした発表をしていました。

参観された方からも、「子どもたちが、楽しそうに発表していた。」「今年は、しっかりと発表したり聞いたり、落ち着いた場面が見られた。」「よく調べて、まとめ、発表もがんばっていた。」などの感想をたくさんいただきました。



1・2年 生活科

秋の音楽会、秋を知ろう、秋のおばけやしき、どんぐりごまなど、秋をテーマに、子どもたちの思いいっぱいのお店で、保護者や地域の方とふれあいました。



3年 総合的な学習の時間

樫西地区にある萩らしい建物や産業を調べ、まとめたものを発表しました。ふるさと萩に対しての思いを高めることができましたと思います。



4年 総合的な学習の時間

「だれもがよりよいかかわり合う」ということについて、福祉の面から課題を決めて調べたことを発表しました。



5年 社会科

社会科と総合的な学習の時間に取り組んだ「私たちの食生活と米」と、社会見学で見学してきた「自動車工場」について発表しました。



6年 総合的な学習の時間

平和学習の経験をもとに、平和のために今、自分たちにできることについて、子どもたち同士が議論しました。



ミニ音楽会「樫西小6年生と萩東中吹奏楽部の演奏」

6年生は、みんなで声をそろえ、力を合わせて、すてきな発表をしました。

合唱：この星に生まれて

合奏：VS.～知覚と快樂の螺旋～
ドラマ「ガリレオ」オープニングテーマ

天候にも恵まれ、PTAバザーも大賑わいでした。今年も、たくさんの地域の方に、リサイクル品の提供などで、ご協力いただきました。ありがとうございました。



毎年バザーに協力していただいているつばき田んぼの会は、今年が発足20周年です。100kgの餅米をついての販売でしたが、大人気で早々にすべて売れてしまいました。



わくわくステージは、萩東中体験活動部や椿保育園年長、小学生の発表、地域から参加していただいた草野孝章さんのピアノの演奏で盛り上がりました。



あいさつの輪を広げましょう～第2回～

授業・訓育支援委員会では、11月5日（火）～8日（金）の4日間、本年度2回目のコミュニティあいさつ運動を行いました。それに合わせて、6年生も、朝、市民体育館前の交差点、南門付近、北門付近に立ってあいさつ運動を行いました。

事前に、次のようなあいさつをしようと確認して、あいさつ運動に臨みました。



- 椿西小のチャレンジ目標から
 - ・相手より先にあいさつをする。
 - ・相手の目を見てあいさつをする。
 - ・場にあったあいさつをする。（外では大きくはっきりと）
- 6年独自の目標として
 - ・気持ちのよいあいさつが返ってくるあいさつをする。
 - ・5mあいさつをする。

あいさつ運動を通して、子どもたちが感じ、考えたことを紹介します。

* 6年生 *

★あいさつ当番の日、僕は6時50分ごろ家を出て、7時20分ごろからあいさつをすることができました。かなり大変でしたが、そんなことを一気に吹き飛ばしてくれる1年生の一言がありました。

「ああ、すっきりした。」

1年生の女子が、大きな声であいさつした後、そう言っていっしょに来ていた1年生と話していたのです。

それによって、ただやっているだけのあいさつが、目的をもったあいさつにかわり、当番をすることの意味がわかったようでした。

『朝からすっきりしてもらおう！』これがぼくにとってのあいさつ当番でした。

~~~~~

★あいさつ当番をして、「あいさつを先にすると、相手もしてくれる」ということがわかった。（…中略…）家の中でも「おはよう」「おやすみ」をいい、家族がうれしくなるあいさつをしていきたいです。

## \* 1～5年生 \*

★今日、学校に行く途中、6年生があいさつをしていました。私は、あいさつが全然できていません。するとといえば、先生や相手から先にあいさつをしてくれた人にしかしていません。私は、もう少しで6年生なので、意識してみようと思いました。

~~~~~

★今週、あいさつ運動がありました。ぼくは、6人くらいの6年生にあいさつをしました。6年生は、ぼくがあいさつをしようとする、すごく早く先にあいさつをしてくれました。すごくいい気持ちでした。ぼくも、それに負けず大きい声であいさつを返しました。ぼくの今までの中でいちばんよかったかもしれせん。

これからも、6年生や今週のぼくのように、地域の人や出会った人に、今週のことを忘れずにあいさつをしたいです。



また、あいさつ運動の2日目。こんな出来事があったと、6年の担任が話してくれました。

北門であいさつをしていると、青果市場の方でしょうか、「気持ちのいいあいさつだね。」と声をかけてくださいました。「あなたたちのあいさつを聞いていると、元気が出るよ。いいことだね。」「あいさつは、人と人とのコミュニケーションの基本だからね。」と、わざわざ声をかけてくださったというのです。

声をかけてくださることのありがたさを感じるとともに、あいさつのよさを実感するひとときだったそうです。また、あいさつの輪を、学校、家庭、地域に広げていきたいと感じた瞬間でもあったと話してくれました。

あいさつは、数秒でできる小さな取組ですが、人の心を元気にしたり気持ちよくしたり、また、自分も気持ちよくなったりする大きな魔法の力をもっています。地域にあいさつの輪が広がって、笑顔があふれるといいですね。

